

「親の学習」プログラム集（増補版）の活用にあたって

「親の学習」プログラム集（増補版）を有効に活用していただくためのポイントをまとめました。また、平成 19 年度作成の「親の学習」プログラム集や手引き集にも、活用の仕方が記載されていますので、参考にしてください。

① 対象枠にとらわれずに、プログラムを幅広く御活用ください。

このプログラム集には、保護者を対象にしたプログラムとして、「すべての保護者対象のプログラム」「乳幼児を持つ保護者対象のプログラム」「小学生を持つ保護者対象のプログラム」「中学生・高校生を持つ保護者対象のプログラム」の 4 つの対象枠を設定しています。しかし、「すべての保護者対象のプログラム」以外のプログラムも、エピソードをアレンジしたりすることで対象の枠にとらわれずに御利用いただくことができます。対象枠はあくまで参考ですので、内容を御覧いただき幅広く御活用ください。

② 平成 19 年度作成の「親の学習」プログラム集のデータを更新しました。

「第Ⅲ章 資料編」に「データ更新資料」を掲載しました。平成 19 年度に作成した「親の学習」プログラム集の資料データ等を最新データに更新したものです。最新データを御利用いただくことで、平成 19 年度作成のプログラムもこれまでと同様に、継続して御利用いただくことができます。また、以前の資料と併せて御使用いただければ、経年変化を見ることもできます。

③ エピソード等を工夫して御活用ください。

日常生活でよくあるようなエピソードをもとにして、プログラムを作成しています。エピソードの多くは母親と女の子が登場しますが、エピソードをアレンジして父親が登場させることもできます。また、プログラムによっては、エピソードをもとに父親の気持ちを考えるワーク（学習・演習のこと）もあります。

「親の学習」講座に、お父さん、お母さんともに参加していただくよう、プログラム内容を工夫し御活用ください。

④ 「親の学習」講座の設定時間にあわせて御活用ください。

各プログラムは、60 分程度を想定して作成しています。第Ⅱ章の「手引き」では、その展開例を示していますが、各学校や公民館等で設定される時間は様々です。重点的に取り組むワーク（学習・演習のこと）や資料を選定するなどして御活用ください。

⑤ 参考資料として小学生対象のプログラムを掲載しました。

兄弟姉妹が少なく、乳幼児と接する機会の少ない児童にとって、乳幼児とのふれ合いは、幼い命を慈しむ気持ちをはぐくんだり、両親への感謝の気持ちをはぐくんだりすることにもつながります。生活科の時間や総合的な学習の時間に、乳幼児と接する機会等を取り入れている小学校で、是非御活用いただきたいと思います。